

重要取組シート

会計室

取組項目		財務会計システムの再構築の推進
現状・課題		・ 現行システムは平成 22 年 4 月から運用を開始し、今年度で 14 年目となるが、これまで大規模なシステム障害は発生しておらず、安定的に稼働している。 ・ 現行システムのサポートが令和 7 年 3 月末で終了する（令和 6 年度決算を現行システムのまま対応できるよう現行事業者と調整が必要）。 ・ 今般のシステム再構築に当たり、システムをよりコンパクトにするよう、各業務主管課で現行機能の精査を行った。これにより開発費用や運用経費を低減できるよう進めている。
取組の内容		・ 現行機能のコンパクト化をめざし、維持すべき機能と必要度の低い機能を精査し、高い必要性が認められないものは、カスタマイズや機能自体を削除する。追加すべき機能についても、開発費用低減と事務の適正さ、効率性維持の視点により調達仕様を作成する。 ・ 機能の精査により経費節減した部分をもとに、全庁の業務効率化に向け、電子決裁処理の充実やシングルサインオンの導入などに取り組む。 ・ 現行システムは多数の自作システムが付帯しており、業務効率化などに寄与しているが、開発費用低減の視点により最低限必要なものに精査し開発する。 ・ 適正かつ効率的な開発業務に向け調達仕様や選定方法を検討するため、学識経験者の意見を求める。 ・ 令和 6 年度決算処理を現行システムで、令和 7 年度当初予算の執行を新規システムで管理できるようにし、現状の業務運営に支障がない新規の機能等は段階的に構築するなど、効率的なシステム導入手法も検討する。
スケジュール	前期 (～7 月)	☐ 提案書作成要領及び選定基準等の調整（4 月） ☐ 学識経験者への意見聴取（4 月～） ☐ 開発受託事業者公募（5 月～） ☐ 開発受託事業者入札・プレゼンテーション（6 月） ☐ 開発受託事業者選定及び契約締結（7 月） ☐ 以後、開発業務を推進（～令和 7 年度）
	中期 (～11 月)	☐ 新規システムの効率的運用に向け、電子決裁その他各種制度運用を再検討（8 月～）
	後期 (～3 月)	
	次年度以降	☐ 新規システムを段階的に稼働開始【令和 7 年度予算執行から】
進捗の状況	前期 (～7 月)	☐ 提案書作成要領及び選定基準等の調整（4 月） ☐ 学識経験者への意見聴取（6 月） ☐ 開発受託事業者公募（7 月～8 月）
	中期 (～11 月)	☐ 総合評価一般競争入札《入札・事業者ヒアリング》（9 月） ☐ 開発受託事業者選定及び契約締結（9 月） ☐ システム機能の確認・調整《要件定義》（10 月～）

(様式 4)

	後期 (～3 月)	□ システム機能の確認・調整≪基本設計≫（1 2月～）		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	—		
	寄与する KPI	—	目標値（2025 年度）	
			—	
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	—	
		—		
	寄与する KPI	—	目標値（2023 年度）	
			—	